

2021年度県有施設における温室効果ガス排出量について

1. 2021年度県有施設における温室効果ガス排出量

2021年度の県有施設における温室効果ガス総排出量は111,552t-CO₂でした。「群馬県地球温暖化対策実行計画2021-2030」の基準年度である2013年度と比べ、20.1%減少しています。

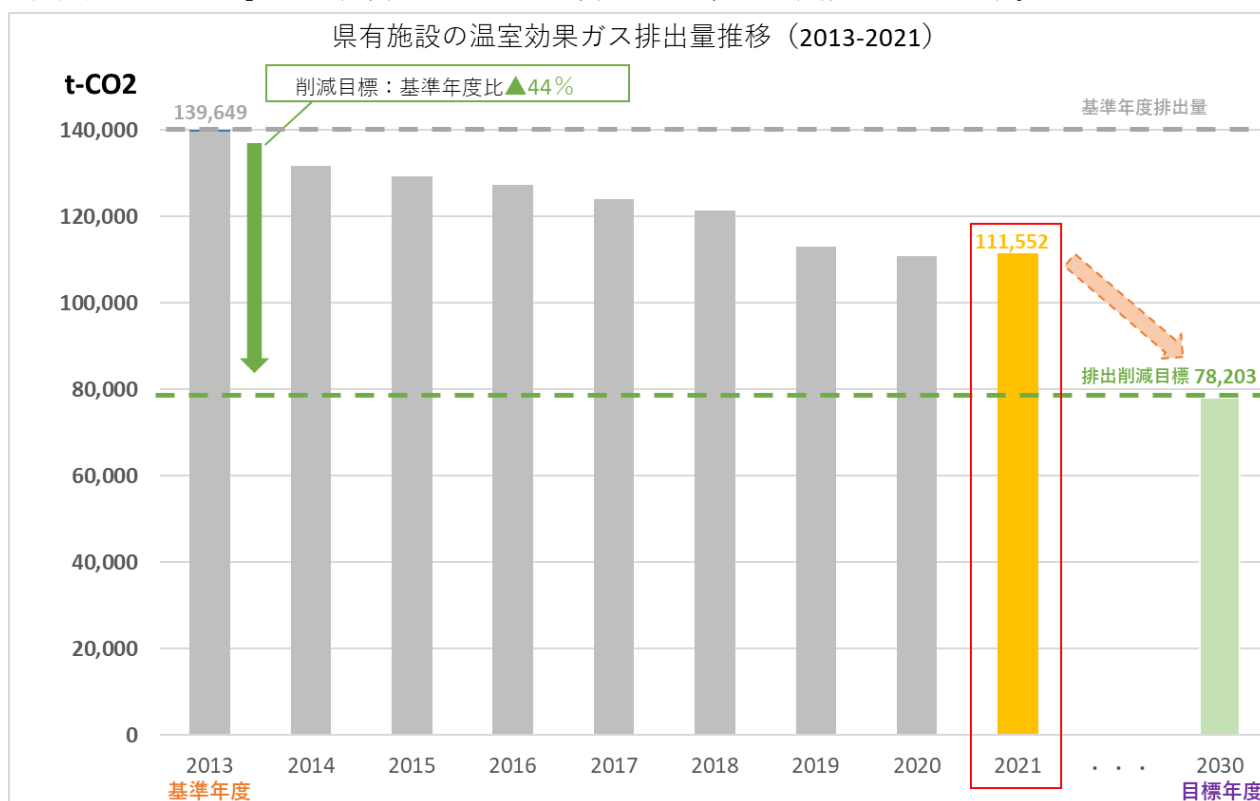


図1 県有施設の温室効果ガス排出量の推移

(1) 県有施設の温室効果ガス総排出量

2013年度 総排出量 (基準年度) (A)	2020年度 総排出量 (前年度) (B)	2021年度 総排出量 (C)	前年度比		基準年度比	
			増減 (C-B)	増減率	増減 (C-A)	増減率
t-CO ₂ 139,649	t-CO ₂ 110,767	t-CO ₂ 111,552	t-CO ₂ 785	% 0.71	t-CO ₂ ▲28,097	% ▲20.1

(2) 前年度比で増加した要因

新型コロナウイルス感染症による施設閉鎖等の影響があった2020年度に比べ、2021年度は活動が再開されエネルギー使用量が増加したことに加え、換気を行いながら空調を使用するなど、省エネルギーの取り組みにも制限がありました。一方、県立高校の統廃合による灯油消費量の減少や、WEB会議による出張減等により、排出量は微増にとどまりました。

【参考】主なエネルギー使用量

項目	2013年度	2020年度	2021年度		
	(基準年度)	(前年度)		前年度比	基準年度比
電気	187,174 千 kWh	176,559 千 kWh	175,566 千 kWh	▲0.6%	▲6.2%
重油	3,580 kL	2,278 kL	2,190 kL	▲3.9%	▲38.8%
都市ガス	3,414 千 m ³	3,483 千 m ³	3,603 千 m ³	3.4%	5.5%
ガソリン(車)	2,942 kL	2,293 kL	2,158 kL	▲5.9%	▲26.6%
灯油	1,916 kL	1,525 kL	1,441kL	▲5.5%	▲24.8%

2. 今後の方針

県は、「群馬県地球温暖化対策実行計画 2021-2030」において、2030年度の県有施設における温室効果ガス排出量を、基準年度（2013年度）比で44%削減する目標を掲げています。また、2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」実現条例（令和4年3月公布）では、県の事務及び事業において、率先して地球温暖化対策に取り組むものと規定しています。

本年5月には、年間を通じ快適で働きやすい服装で執務する「SDGs×スタイル」の取組を導入しました。また、8月には、知事を本部長とした「群馬県グリーンイノベーション推進本部」を設置し、全庁的な取組を行うための体制を整えました。

今後は、推進本部に設置した専門部会を中心に、公用車における電動車の導入や、県有施設における省エネルギー改修、再生可能エネルギー設備の導入等を検討し、目標の達成を目指します。

「ぐんま5つのゼロ宣言」

- 宣言1 自然災害による死者「ゼロ」
- 宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」
- 宣言3 災害時の停電 「ゼロ」
- 宣言4 プラスチックごみ 「ゼロ」
- 宣言5 食品ロス 「ゼロ」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさも守ろう